



資料 1

島根原子力発電所 2 号機 中央制御室空調換気系ダクト腐食について

平成 2 9 年 2 月 6 日
中国電力株式会社

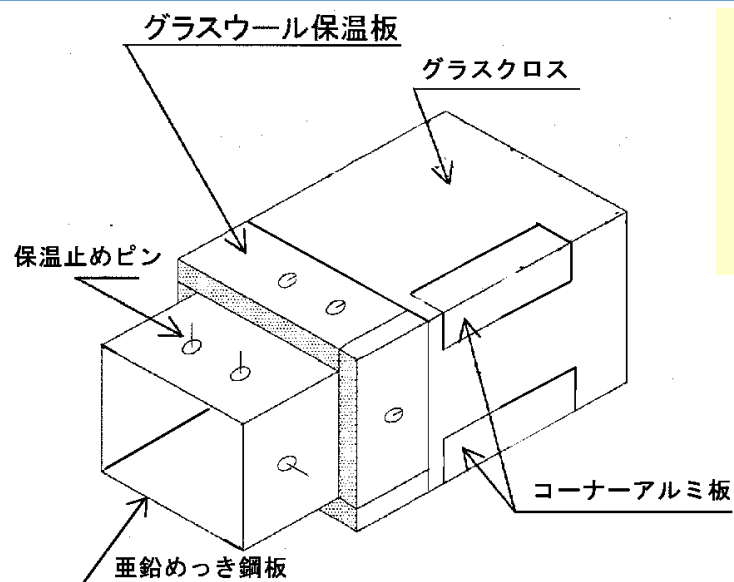
- 平成28年12月8日14時50分頃、島根原子力発電所2号機において、中央制御室空調換気系（以下、「当該系統」）のダクトの寸法測定のために、保温材取り外し作業を行っていたところ、当該系統のダクト（以下、「当該ダクト」）に腐食孔（約100cm×約30cm）が生じていることを協力会社社員が確認。
- 当該系統は、別工事のため停止中であったが、その工事の終了に伴う確認運転のために当該系統を起動したところ、異音等を確認したことから、運転を停止。
- 当該系統は実用炉規則※¹に定める安全上重要な機器等に該当し、系統に要求される必要な機能※²を満足していないと18時30分に判断。国へ報告するとともに、関係自治体へ連絡。
- なお、本事象による周辺環境への影響はない。

※1 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則

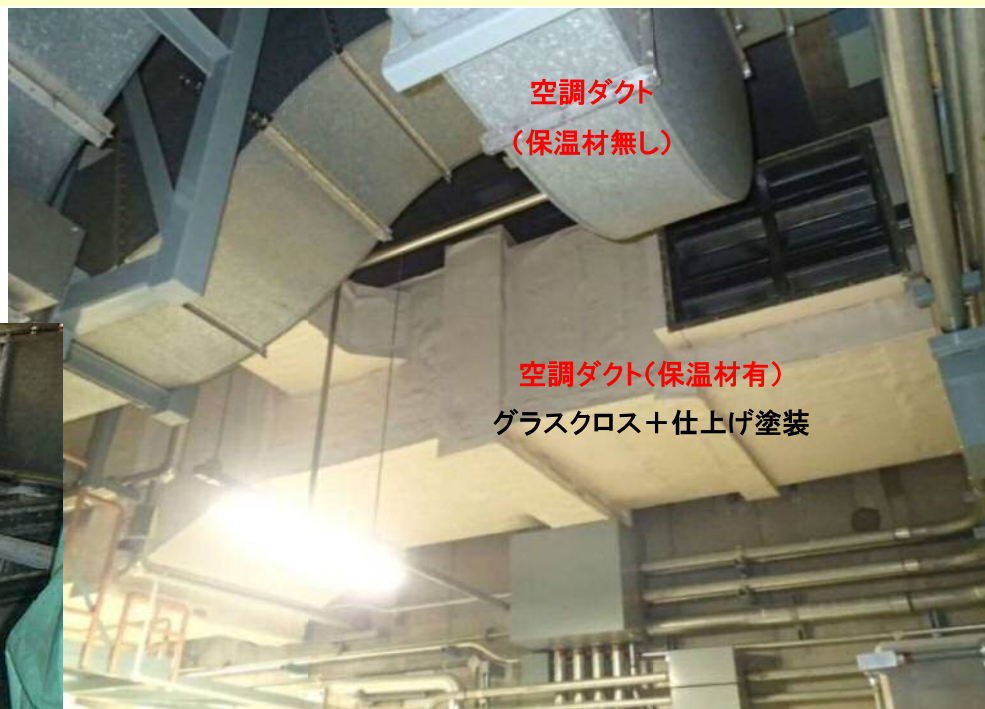
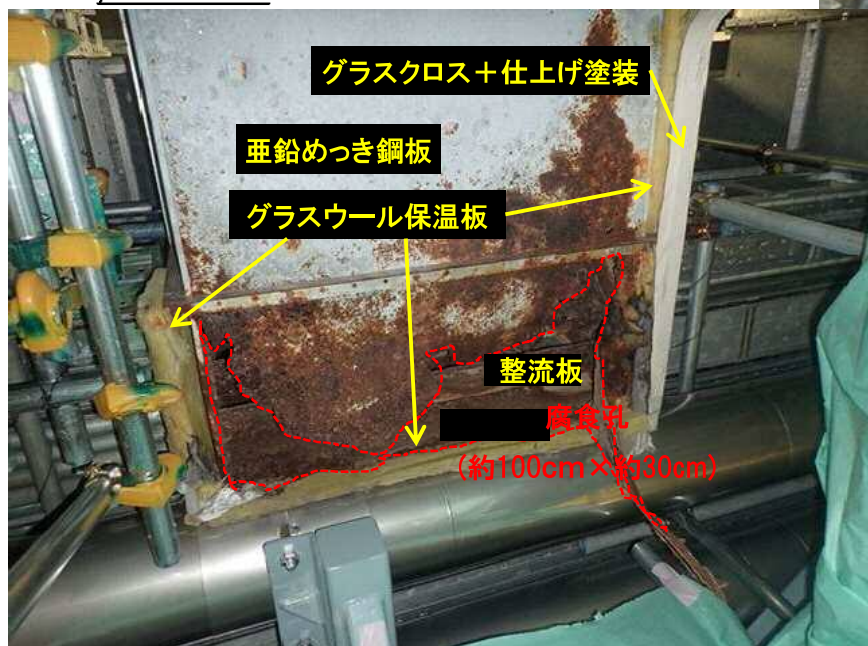
※2 事故発生時には、事故が収束するまでの間、運転員がとどまって監視や操作が行えるように、外気の入入れを遮断し、空気フィルタを介して内部循環させる機能

「ダクト構造図」と「H28年12月8日に確認した腐食孔」

2



■ 空調ダクトは、亜鉛めっき鋼板またはステンレス鋼板に、グラスウール保温板を貼り付け、その周りをグラスクロスで覆い、表面を合成樹脂系の塗料で仕上げ塗装をしている。



空調ダクトの一例

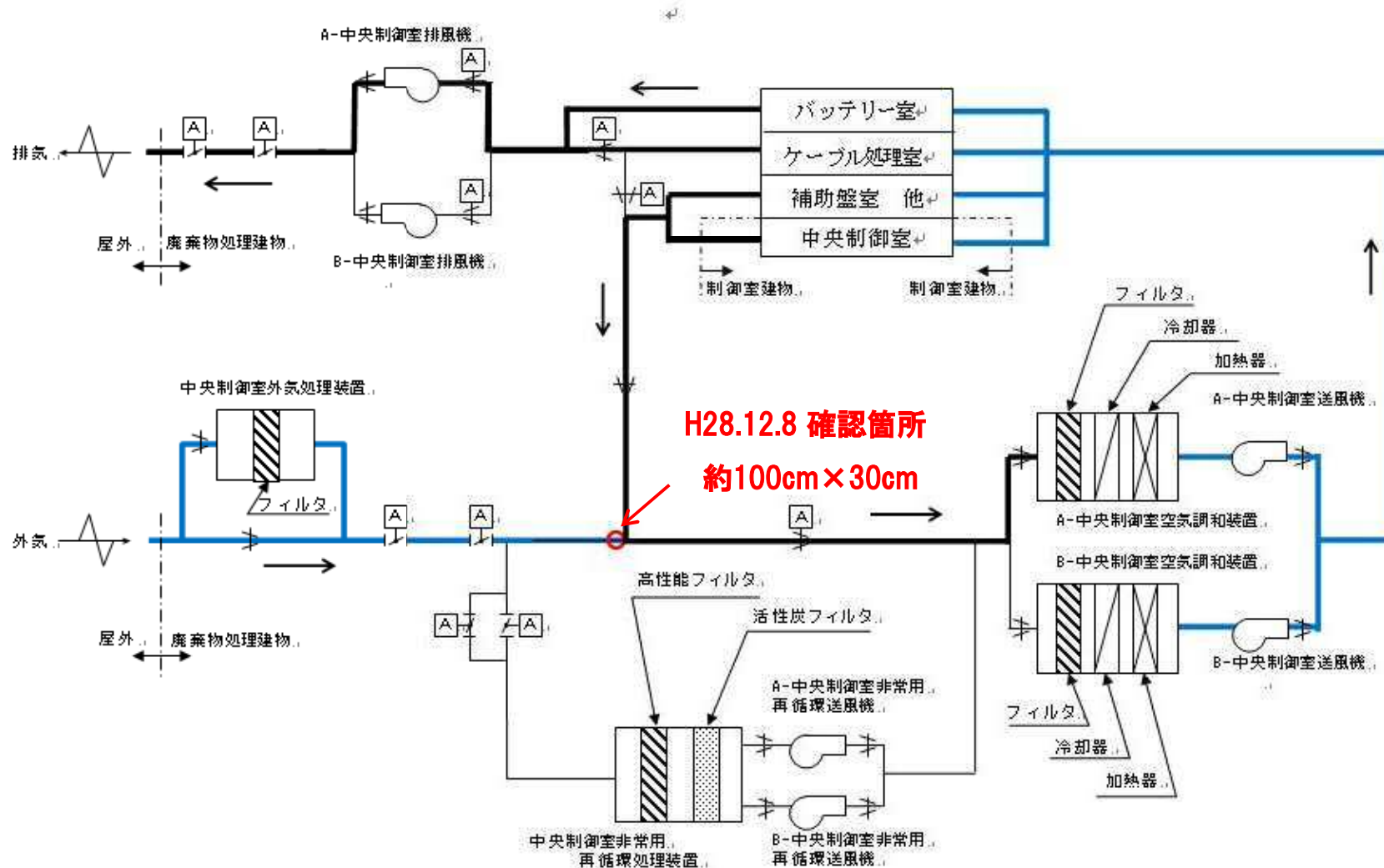
H28.12.08に確認した腐食孔
(保温材取外し後)

中央制御室空調換気系統図

3

<凡例>

— : 保温材取付範囲



類似箇所の点検について

4

- 平成28年12月13日～26日にかけて、腐食孔が確認された当該ダクトの類似箇所の点検を実施。
- 類似箇所の点検の結果、同年12月8日に確認した腐食孔のほかに、3箇所で腐食および6箇所で18個の腐食孔を確認。また、これら腐食孔等のほか、ダクトにダクト補強材を取り付けるリベット※が外れたことによるリベット穴開口部（1箇所10個）を確認。

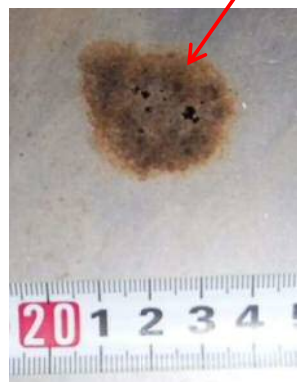
※ 頭部とねじ部のない胴部からなり、穴をあけた部材に差し込んで接合させる部品



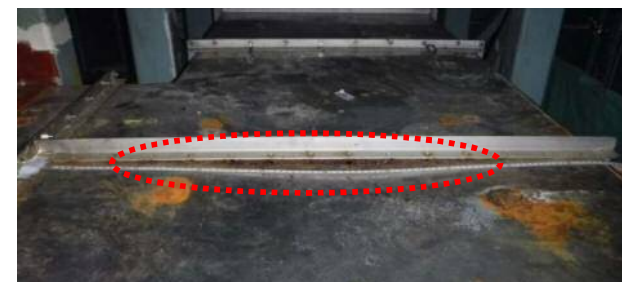
3箇所の腐食の一例



18個の腐食孔の一例



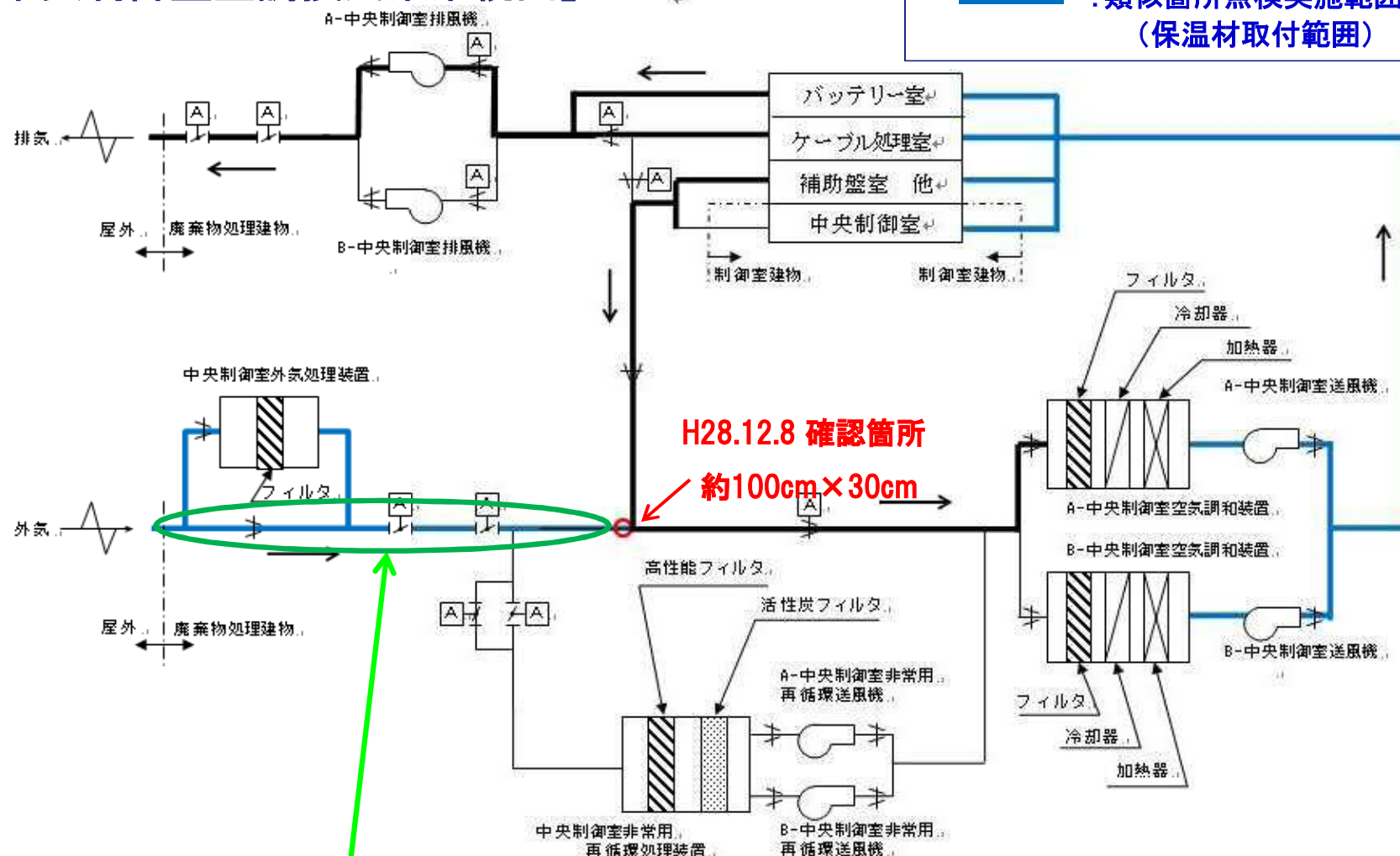
ダクト補強材を取り付ける
リベットが外れていた箇所



類似箇所の点検について ～腐食孔等確認箇所～

5

【中央制御室空調換気系統図】



■3箇所で腐食および 6箇所で18個の腐食孔を確認
(直径約1mm～1cmの17個および約15cm×約1cmの1個)

■ダクト補強材のリベット穴開口部を確認
(1箇所10個, 直径約5mm～1cm)

当社は、島根原子力発電所の2号機 中央制御室空調換気系ダクト腐食について、類似箇所の点検結果も踏まえ、原因の調査を行うとともに、再発防止対策の検討を進めてまいります。

原因調査結果、再発防止対策等については、今後、とりまとめた上で、原子力規制委員会に報告するとともに、地域の皆さまにもお知らせしてまいります。